

令和7年度 9月補正予算

令和7年9月30日
福井県

令和7年度9月補正予算 重点ポイント・予算の規模

<重点ポイント>

1 観光誘客・まちづくりの促進

若狭湾サイクリングルートレベルアップ、大阪・関西万博展示物の活用

2 地域経済・暮らしを支える基盤の強化

米国関税の影響を受ける事業者への支援、福井空港の機能強化 等

3 長期ビジョンの推進

県立大学国際化推進拠点の整備、ひとり親家庭への支援拡充 等

4 国の内示等に伴う公共事業の増額

<予算の規模>

一般会計 **37億円**

9月補正後の予算規模(一般会計) **5,106億円** (対前年度比 0.3%減)

1 観光誘客・まちづくりの促進

若狭湾サイクリングルート整備事業（1億4,300万円）【主要事業P1】

ナショナルサイクルルートの指定に向け、ルートのレベルアップを図るため、モニュメント等を整備

〔モニュメントや起終点看板の整備
迷いやすい箇所における案内看板等の増設 等〕



【若狭湾サイクリングルート】

大阪・関西万博における福井県ゾーン展示物の二次活用事業

（8,900万円）【主要事業P1】

万博に出展している福井県ゾーンの展示物をこども家族館に移設し、観光誘客に活用

〔大型4面VR映像、デジタル化石発掘体験、恐竜モニュメントの移設〕



【県内施設への設置(イメージ)】

- 2 -

2 地域経済・暮らしを支える基盤の強化

米国関税措置対策支援事業（2億1,500万円）【主要事業P2】

米国相互関税が発動されたことによる県内企業への対策を実施

○業界団体を通じた取引適正化の推進

関税措置による「しわ寄せ」等を防止するため、県内企業の取引状況を調査するとともに、企業の要請に応じ、専門家や関係機関と協力して対応

○企業への経営相談の実施

関税の影響を受ける県内企業からの相談に対し、専門家派遣による伴走支援を実施

○米国関税対策予備費の創設

不透明な関税の影響に対し、必要な対策を迅速に実施するための予備費を創設



【米国関税対策会議】



【経営相談(イメージ)】

- 3 -

2 地域経済・暮らしを支える基盤の強化

福井空港再整備事業(50万円 [債務負担行為]6,000万円)【主要事業P2】

「福井空港ビル再整備構想」に基づき、福井空港の防災機能等の強化・再整備を実施(新空港ビルおよび駐車場の基本設計、地質調査に着手)

〔供用開始〕 令和12年度(予定) ※新空港ビルは令和11年度

〔整備内容〕 新空港ビル建設、駐機場の拡張整備 等

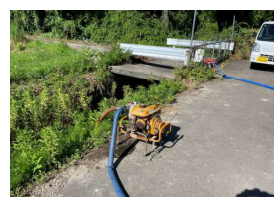


【福井空港】
(協力:セントラルヘリコプターサービス株式会社)

干害対策等特別事業(4,000万円)【主要事業P2】

農作物被害を防止するため、市町や土地改良区等が実施する干害対策に必要な経費を支援

〔水路・井戸の掘削、送水管の設置、揚水ポンプの設置 等〕



【揚水ポンプの設置】

- 4 -

3 長期ビジョンの推進

県立大学「Global Gateway(仮称)」整備事業(1,200万円)【主要事業P4】

国際化を推進するための拠点を整備

(実践的な語学力の強化、学生の海外派遣等の促進を図るとともに、海外の大学、企業の海外拠点等との交流・連携を進め、グローバル人材を育成)

〔供用開始〕 令和9年度(7年度:実施設計 8年度:施設改修)

〔整備場所〕 永平寺キャンパス 交流センター内



【Global Gateway(イメージ)】

ひとり親家庭高等職業訓練給付金事業(制度創設)【主要事業P4】

ひとり親家庭の安定的な就労収入の確保のため、就職に有利となる資格取得時の訓練給付金を本県独自に拡充(令和8年度~)

〔対象者〕 ひとり親家庭の親(所得制限撤廃)

〔支給額〕 非課税世帯:10万円/月 → 15万円/月

課税世帯: 7万500円/月 → 15万円/月

こども加算: なし → 1.5万円/月(1人あたり)



【資格を活かした就労
(イメージ)】

- 5 -

3 長期ビジョンの推進

原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業（3億2,800万円）【主要事業P6】

共創会議において示された地域振興および課題解決に向けた取組みを推進

〔事業内容〕 敦賀第二環状道路、美浜・高島道路の整備にかかる調査等
嶺南市町の取組みに対する補助

4 国の内示に伴う公共事業の増額

国の内示に伴う公共事業の増額（2億6,900万円）【主要事業P8】

道路の整備、河川・防災ダムの設備更新、圃場整備など、
公共事業を増額



【福井港丸岡インター連絡道路(整備中)】